



皆様におかれましては、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、私も皆様のご理解とご支援により与えていただきました。新たな任期四年のうち、既に半分が経過しました。県議会では議会内での役職等の任期は二年でして、各議員は常任委員会の異動をはじめとして、役職交代の動きがありました。私は引き続き**自民党福岡県議団の幹事長**として統投の指示を受け、会派内の人事案の調整等を行いました。新たに役職につかれた議員の方々も職責を全うして県政発展のためご尽力いただけたものと願っています。

また、自民党福岡県支部連合会(自民党福岡県連)でも任期満了にて新しい役員構成が決まりました。統投となりました。蔵内勇夫・自民党福岡県連会長、松本國寛・自民党福岡県連幹事長を中心に県民の期待と信頼に応じられるよう、より逞しい自民党をつくっていただけたら

## ごあいさつ

福岡県議会議員 **松尾統章**

と期待し、私もその一員として粉骨砕身、努力してまいります。さて、福岡県の『「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群』が七月九日、国連教育科学文化機関(ユネスコ)の世界文化遺産に登録されることになりました。本当に明るい話題であります。

年間一五〇万人のキャパシティを持つ北九州空港ではありますが、昨年は一四〇万人もの利用客があり、空港の混雑が目立つようになりました。国の方も地元の意欲を認めて北九州空港を「訪日誘客支援空港」に認定し、受入環境の整備等に重点的に支援を行うようになりました。

今後の北九州市、福岡県の発展の柱の一つにインバウンド(訪日外国人旅行・訪日旅行)は重要な施策であります。福岡の西側の元気が目立ちますが、東側が盛り上ってこそその福岡県であります。今後も県勢発展のために頑張ります。

残暑お見舞い申し上げます。皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より後援会連合会へのご支援をいただき心より感謝申し上げます。

昨年の6月、会長に就任し早一年になりました。松尾県議が県政二筋に専念できる環境ができたのか考えますとまだまだ力不足と

思っております。今年も全国各地で大災害が起きています。九州でも昨年4月の「熊本大地震」、今年「平成29年7月九州北部豪雨」と名付けられた豪雨による大災害、被災された多くの方々には本当にお気の毒で心が痛みます。

松尾県議の活動には後援会の皆様一人一人が大切であり、日頃のご支援に感謝いたしております。微力ながら精一杯務めさせていただきますので今後とも後援会にご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。



松尾統章後援会連合会 会長 **中川昭之**  
なかがわ あきゆき

災害復旧、被災者支援に課題が折重なり、松尾県議の支援推進も課題多しであります。皆様も期待されます。

また、経済問題、地域産業の振興、郷土の発展、教育問題などの政策も活発に推し進めております。松尾県議は「生の声」を大切にしています。県民の期待に応える議員として、益々大きな人気を勝ち得るよう力強く応援しましょう。

## プロフィール

生年月日 昭和48年1月7日生(44歳)  
座右の銘 知行合一  
家族 祖母・母・妹・妻・長男・長女・次女  
経歴  
昭和60年 北九州市立大原小学校卒業  
昭和63年 北九州市立八尾中学校卒業  
平成3年 福岡県立北筑高等学校卒業  
平成9年 第一経済大学卒業  
平成11年 福岡県議会議員初当選  
平成15年 福岡県議会議員二期当選  
平成15年 警察常任委員会 委員長就任  
平成19年 福岡県議会議員三期当選  
平成19年 自民党福岡県連政務調査会 会長就任  
平成19年 自民党県議団政策審議会 会長就任  
平成23年 福岡県議会議員四期当選  
平成25年 **第63代福岡県議会議長**  
平成27年 福岡県議会議員五期当選

## 現在の役職

- 自民党福岡県議団 幹事長
- 県土整備委員会 委員
- 福岡県ベトナム友好議員連盟 会長
- 福岡県タイ友好議員連盟 相談役
- 空港、防災及び水・エネルギー等社会基盤調査特別委員会 委員
- ギラヴァンツ北九州を応援する会 会長
- ソフトバンクホークスを応援する会 監事
- 福岡県宅地建物等対策議員連盟 顧問
- 福岡県森林・林業・林産業活性化促進議員連盟 会計監事
- 九州の自立を考える会 幹事
- (公社)福岡県メディカルセンター 理事
- ボーイスカウト北九州第51団育成会 育成会長
- 北九州市ソフトボール協会 会長
- 福岡県立北筑高等学校同窓会 副会長
- (一社)北九州青年経営者会議 OB会員
- (一社)北九州青年会議所 OB会員
- 八幡西消防団第8分団 団員

## 平成29年~30年 行事予定

平成29年
8月20日 ピアパーティ
9月12日 朝食会
10月23日 ゴルフ大会(予定)
11月13日 朝食会
12月13日 朝食会忘年会
平成30年
1月6日 新春の集い(1/7が日曜のため1/6に開催)
2月13日 朝食会
3月13日 朝食会
4月 八西旗争奪ソフトボール大会

「線状降水帯」最近よく耳にする言葉です。九州北部豪雨でも、線状降水帯が発生し、多くの方がお亡くなりになりました。又、多くの方が家を失い、農産物にも多大な被害がありました。お亡くなりになられた方のご冥福と、被害に遭われた方の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。この異常気象は、世界的規模で発生しているようです。地球温暖化は、あらゆる分野に多くの影響を与えており、人類に警鐘を鳴らしています。今一度、生活環境の見直しを、一人ひとりが謙虚に考えることが必要です。

松尾県議とご縁がある「白鵬関」が歴代最多勝を達成しました。魁皇関の最多勝を抜く力士は現れないのではないかと言われていましたが、厳しい稽古と精神力で、見事に偉業を達成しました。心からの敬意と賛辞を送ります。

政治家は、発言した言葉に責任があります。日本人が大切に育ててきた「言魂」と言う言葉を、今一度政治家の皆さんに思い起こしてほしいと痛切に感じています。松尾統章県議は、言葉を大切にします。松尾統章県議は、言葉を大切にします。松尾統章県議は、言葉を大切にします。松尾統章県議は、言葉を大切にします。

七人の侍

## 九州の自立を考える会



我が国の中央集権型行財政システムは効率的に経済成長を促進していきました。しかし、今、中央と地方の格差拡大や国際競争力の低下などこのシステムが機能不全に陥りつつあることも明らかになってきました。それに伴い、地方における産業政策・成長戦略、そして国民生活に関わる行政を一元的かつ総合的に担い、国家と地方の新しい役割分担によって二重行政や過剰な負担を解消することが強く求められています。

そこで、党派や政治的理念を超えて「九州の自立を考える会」を設立し、将来の道州制も視野に入れ、現在の国と地方の役割分担のあり方を見なおす地方主権の推進や九州の成長戦略づくり等に関する研究を進めていくこととし、まず九州が自立をすることを目指し、福岡県議会から九州各県議会で議論の輪を広げ全国をリードしていきます。

## 編集後記



## 発行 松尾統章事務所

〒807-0073 北九州市八幡西区町上津役東1丁目14-1  
電話 093-612-2300 FAX 093-611-1826

発行責任者/花田陽一 E-mail:toshio63dai@gmail.com 印刷/磯小田印刷社



**松尾統章**  
facebook ページ開設!

福岡県議会議員松尾統章 検索





# 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群 世界遺産に登録

私が議長の際に、宗像市の谷井市長より「沖ノ島を見てほしい」との投げかけがあり、自民党県議団で『沖ノ島を考える会』を発足。当時から世界遺産登録を見据え、国に働きかけを行うなどの活発な活動を繰り返してきました。そしてこのたび、7月9日にポーンランド・クラフで開催されたユネスコの第四十二回世界遺産委員会において、『神宿る島』宗像・沖ノ島



と関連遺産群」が世界遺産に登録されることとが決定しました。福岡県議団を代表して地元・宗像選出の伊豆美沙子議員がポーンランド・クラフの世界遺産委員会の会場で、審議状況を見守りました。



航海の安全などを願う多くの装飾品を用いた祭祀が行われていたことや、それが日本固有の信仰として現代に伝えられていることなどが世界的にも高く評価されたことと実感しております。

今回の決定は、私たちが住む福岡県が古代から長い歴史のなかで優れた伝統と文化を育んできたことを再認識する決定でもあります。



## 陳情

### 産業医科大学東(産業医大入口)の交差点

地元の自治区会や地域の皆様方から強い要望がありました。産業医科大学東「の信号に右折の矢印信号を設置してほしいとの陳情があり、二年半ほど前から折尾警察署や県警本部と協議を重ね、北九州市の協力のもと、今年の三月二十二日に矢印信号が設置されました。時間帯に応じて右折矢印点灯時間も調整され、光貞台方面から産業医大・大浦方面への交通渋滞が緩和されるとともに、歩行者の安全でも大きな役割を果たす設置となりました。また、この交差点は近いうちに全ての車両を停止させ、歩行者を同時に横断させる「歩車分離

式信号」が導入されることとなっており、より一層安全が確保されることとなります。

安心安全を強く訴えてきた地元の皆さんの熱意が関係各所を動かした結果だと実感しております。

# 平成二十九年七月九州北部豪雨



森田朝倉市長より状況説明

先の「平成二十九年七月九州北部豪雨」での被害は我々の想像を絶するものでした。被災された方々にお見舞い申し上げます。自民党福岡県議団では災害発生直後の七月六日午前十時に直ちに関係役員を招集して「九州北部豪雨災害対策本部」を立ち上げ、国や県の執行部に対し、被災者と被災地の救済と復興に向け様々な具体的要請を行いました。今回の九州北部豪雨に



東峰村視察

おける福岡県の被害額は今日判明分だけでも既に一、一九七億円に達し、また風評被害もあり、被災地・朝倉市の原鶴温泉やその周辺のホテル・旅館では約一、五〇〇人のキャンセルが発生し、観光産業も甚大な影響を受けました。

国の方では、激甚災害の早期指定をしていただき、福岡県としても国の対応までのタイムラグへの県単独の支援や国が補助できない観光復興支援



「万能ねぎ」で有名なJA筑前あさくらからの陳情受け取り

などは「ふくおか応援割」の発売などで対応をしていきます。

この災害に対し、一日も早い復興を願い、今後も県政のあらゆる機会を通じて、救済と復興支援を推進していくとともに、常態化の気配をみせています異常気象に備えて、今後の新たな国土強靱化に取り組んでいく決意であります。